

令和5年度 修了式 (講話67)

令和6年3月21日【てふてふ2】
おはようございます。

今朝はとても寒いですね。校長先生
の家のあたりは、今年一番、雪が積も
ってましたよ。まだまだ寒い日が続く
ようなので、かぜなどひかないよう、
ご注意くださいね。

先日、卒業式を無事終えることがで
き、6年生が巣立っていきました。と
てもいい式で、5年生のみなさんもよ
くがんばりましたね。

さて先週のお題は、中学生になった
ら何がしたいというものでした。友だ
ちと遊ぶ、どこかに行きたいというも
のが多かったと思います。書いていた
だいたみなさん、ありがとうございます
でした。

さて、今回は先週の続きで「てふて
ふ」のお話をしながら、今年度の最後
のお話とします。

さて、学校にはいくつか長い休みが
ありますよね。何休みがありますか？
そう夏休み、冬休み、そして春休み。
では、なぜ夏休み、冬休みがあると思
う？そう夏は暑すぎて勉強できない
ので、夏休み。同じく冬休みも寒すぎ
るので休みです。では、春休みはなぜ
あるのでしょうか？秋休みがないよ
うに、少なくとも暑い、寒いという理
由ではないですよ。少し周りの人と
聞き合ってみてください。

「1年間よくがんばったから」「進級
する準備」などの答えが子どもから寄
せられました。すばらしいです。どれ
も正解ですね。

春休みで、学年が1つあがったり、
先生方の移動があったり、いろいろ変
化のある休みです。

そこで、春休みの理由は、蝶々の成
長に似ていませんか？春休みの理由
を考えると、幼虫が、蝶々になる
前になぜさなぎになるのかを考えて
みましょう。

そもそもさなぎって何でしょう。幼
虫はごはんをしっかりと食べて体を大
きくします。そして、蝶々は羽があっ
て空を飛んだり、卵を産んだりできる
体に大きく変化します。

そこで青虫から蝶々になるのに、
体をつくりかえるのは大変なので、じ
っと休む期間としてさなぎがありま
す。

これを人間に置き換えますと、青虫
が1年生としたら、蝶々は2年生、そ
の間に力を蓄える期間として春休み
があるのです。

春休みは次の学年に備えて、1年間
の反省をしたり、来年度の目標を考え
たりするための準備をするお休みな
のです。春休みの間に、しっかり反省
と目標を考えて、来年度、きれいな
蝶々のように進級できますよう、願
いします。

1年間校長先生のお話を聞いてい
ただきありがとうございました。また
4月に会えることを楽しみにしてい
ます。